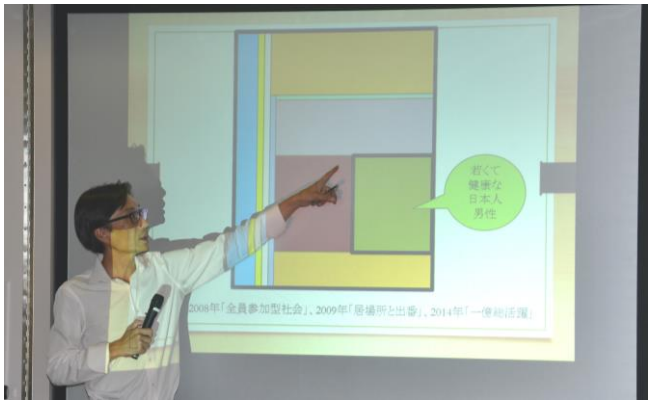
まちを想う、仲間とつなぐ
ゆめこらぼ通信
第63号
2019年11月1日発行
発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町5-6-18　インクビル1F

「横に立って同じ景色を見る」

社会活動に大切なこと　湯浅誠（ゆあさ まこと）氏講演

9月7日(土)、田無総合福祉センターにてNPOパワーアップ講座が開催されました。「社会を変える、あなたの力―市民活動の原点―」と題して、社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠氏による講演会を行いました。当日は62名の参加者が熱心に湯浅氏のお話に耳を傾けていました。

湯浅氏は日本の社会を、1億2千万のビーズが入った箱に例え、そのビーズ一粒＝一人が絶えず動くことでお互いに影響し合いながら社会の模様が変わっていくという話をしました。



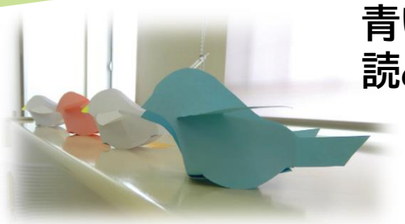
「一人の人間が振動（行動）することで振動は広がっていく、その波紋をなるべく遠くに届かせるのが活動するということ」「自分の考えに近い人だけでなく、少し離れている人がどう考えているのか学び続けることで、活動を拡げることができる」「様々な価値観を持つ人とも、目線を合わせ、同じ景色を見ることで耳を傾けてもらう」など、市民活動に大切な視点を語りました。

参加者からは「人と人のつながりが社会にどう影響するのか、全く関わっていないようで、つながりがあるということがわかりやすかった」「具体的な実例・体験談・経験値の話が刺激になった」「参加できてよかった」との感想がありました。

今回の講座は、参加者に確かな「振動」を与えてくれました。

◆◆登録団体活動紹介◆◆

青い鳥
読み聞かせの会



青い鳥は、西東京市内の図書館で、絵本読みボランティアの講習を受けた市民がメンバーとなり、市内各図書館で絵本の読み聞かせや手遊びなどを行い、今年で活動2年目となる団体です。2019年11月現在、中央・ひばりが丘・谷戸・保谷駅前図書館で絵本読みをしています。

年1回開催される保谷駅前公民館の駅前フェスタでは、会場を鳥やトンボの折り紙などで飾り付け、メンバーが選んだおすすめの絵本を並べていました。

絵本の読み聞かせが始まると、集まってきた子ども達は興味津々です。絵本「どんどこどん」の野菜当てクイズ、「げんこつやまのたぬきさん」で大きな声で歌ったり、ゆったりテンポが心地良い「わにのかぞく」で手遊びしたりと盛り上がります。飾っていたトンボをおみやげに、みんな大満足でした。

このような活動を通し、本に触れる機会を増やしてほしいという思いのもと、青い鳥は西東京市内で絵本読みのボランティアをしています。

イベントなどで読み聞かせを希望の方は、ご連絡をください。都度ご相談となります。
※ゆめこらぼまでご連絡いただければ団体におつなぎします。

レッジョ教育を広める会@キオッチョラ@
＜Qua(クワ)　Qua(クワ)ワークショップ＞
自然のものを表現してみよう

レッジョ教育とは、イタリア・レッジョエミリア市の市民から生まれた教育方法です。こどもの創造力や感受性を大事にし、色々な素材を使って表現することを教えます。

「レッジョ教育を広める会@キオッチョラ@」は、西東京市で活動をして12年になります。

9月28日(土)は多摩六都科学館でワークショップを開催しました。キーワードは「自然とひかり」です。現在年2回程度多摩六都科学館のワークショップを行っており、12月1日(日)にも開催予定です。

今回は、虫や葉っぱが書かれた絵から好きな絵を選び、カタチや線を見つけ、なぞっていきました。

その後はブースごとに分かれ、自然のものを様々な方法で描いていきました。

カーボン紙で写し取るブースAでは、上からゴシゴシしただけで葉っぱの模様が浮かび上がり、びっくりした表情をしている子がいました。

隣のブースBではライトで透かしてミラーペーパーに色を塗っていきます。色を重ねて独自の色を開発していました。

顕微鏡で微細なものを画面に映してみるブースCでは、初めて会った子同士で「一緒にやろう」「こうしたら重なって面白いよ」と、すぐに仲良くなって「表現のコラボ」をするという場面がありました。

驚くほど集中し、緻密な線画や、色とりどりの花や昆虫を描き出す子ども達。否定せずにプロセスを大切にし、自主性を育てるという教育方法に、保護者からも取り入れてみたいという声がありました。

レッジョ教育について講師の石井さんの説明はゆめこらぼHP団体紹介ページへ！

協働の事例集

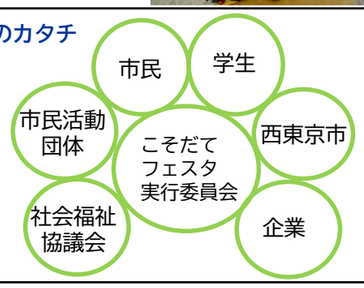
ケース：6

こそだてフェスタ@西東京実行委員会
こそだてフェスタの開催

こそだてフェスタ@西東京実行委員会
西東京市内の子育て関連団体を集め、団体同士のつながりを作るとともに、乳幼児の子育て中の人、これから子育てをする人・したい人、子育てを応援したい人に情報発信するイベント「こそだてフェスタ」を年1回開催。子育て中の母親と協力者で運営。
<ゆめこらぼ団体紹介冊子より>

都心で働いていた女性が出産を控え産休・育休を取った時、地域に自分が欲しいと思った子育て情報がないことに不安を抱き、「情報が溢れる時代だからこそ“自分の子育てに本当に必要な生きた情報”を手に出来るイベントを」と、声を上げ一歩を踏み出して始まりました。2012年3月、パパやママ、子育て支援関係者が一緒に知恵を出し合い、それぞれの立場でやれることを主体的に提案し合い、実行委員会形式で初めて市民会館で開催。その後、企業からの協賛もあり、出展する市民サークルや団体、ボランティアの中高生も増えています。それぞれが役割をもちつつ、すべての子ども達や子育てに関係する人たちが手をつなぎ笑顔になれることを目標に開催しています。

協働のカタチ



それぞれの役割

[こそだてフェスタ@西東京実行委員会]
企画立案・運営・協賛金集め
[市民活動団体・社会福祉協議会]
出展、実行委員会参画
[企業]
資金・機材の提供
[社会福祉協議会]
広報・人員
[学生・市民]
ボランティア
[西東京市]
会議場提供、開催会場の提供、出展運営

見えてきたこと・次へのステップ・課題

・出産後のママパパ対象だったが、プレママやパパを視野に入れていく
・開催場所によって、出展者の取捨選択が必要になる場合があるので、主旨を大切にしつつ、臨機応変に出来るようにする。

ケース：7

NPO法人西東京花の会
「花いっぱい運動」の推進

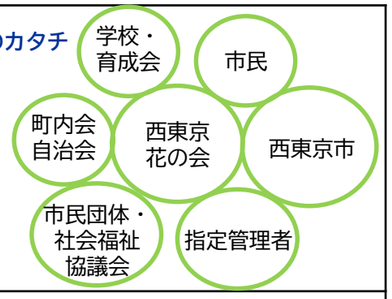
NPO法人西東京花の会
西東京市と協働して「花いっぱい運動」や「コミュニティガーデン・オープン事業」を推進する事業をボランティア活動により実施しています。花と緑あふれる美しいまちに住み、まちの人々と豊かな心と健康を笑顔で分かち合い、楽しみながら暮らしたい、これが私たちの願いです。
〈西東京花の会「事業案内」より〉

西東京花の会は、1997年に「花いっぱい運動」を推進する市民団体組織として発足しました。「市民が花壇の花の種類やデザインを決めて植栽して花壇管理するという市民参加の花壇づくりをし、行政は花苗や資材を現物支給する」という西東京市との協働体制により現在40数か所の公共花壇で「花いっぱい運動」を展開しています。

2003年からは、西東京市と協働で、育苗センターで公共花壇植栽用の花苗の生産供給を実施しています。

「花いっぱい運動」に参加する市民ボランティアを育成するガーデナー養成事業や個人宅の庭を市民に開放するオープンガーデン事業もしています。

協働のカタチ



それぞれの役割

[西東京花の会]
市民ボランティアによる花壇づくり、花苗の生産供給、市民ボランティアの研修・育成、花壇づくりの指導
[西東京市]
花壇・施設・設備の提供及び維持管理、花苗・資材・用品・用具の現物支給、市民ボランティアの募集及び市民啓発への協力
[指定管理者]
活動への協力
[市民][市民団体・社会福祉協議会][町内会・自治会][学校・育成会]
花壇づくり作業等

見えてきたこと・次へのステップ・課題

・花と緑のまちづくりにおける協働の重要性
・園芸福祉の普及活動の展開
・ボランティアによるNPO組織運営の維持

◆◆お知らせ◆◆

まちづくり円卓会議
再出発ができる社会へ・・・
少年・少女との伴走を考える

様々な立場の関係者が集まり、多様な視点から現状や課題に思っていることを話し合う公開の会議です。テーマに関心のある方の参加をお待ちしています。

日時：11月30日（土）13時30分～16時30分
場所：障害者総合支援センター
「フレンドリー」多目的室

第11回NPO市民フェスティバル
開催します

2019年10月にオープンした「フレスポひばりが丘」2階にNPO・市民活動団体が集まります。ぜひお越しください！

日時：1月25日(土)10時30分～16時
1月26日(日)10時30分～15時30分
場所：フレスポひばりが丘2階イベント会場
（西東京市谷戸町2丁目3番7号）

地域の活動
気になる人は・・・
地域活動スタート説明会
ツアー開催

西東京市の市民活動を紹介するイベント「NPO市民フェスティバル」を見学するツアーです。
身近な地域で活動を始めたいと考えている方や、地域活動に興味があるけれど、どうしたら良いか分からない方、まずは参加して、ゆるやかに地域とつながりませんか。

日時：1月25日(土)　12時30分～14時
場所：フレスポひばりが丘2階イベント会場

＜各お知らせの申し込み方法＞
電話、FAX、Eメールで右記「ゆめこらぼ」までお申し込みください。

◆◆報告◆◆

ゆめサロン
～あなたに出来ること
×安心・安全な地域づくり
for子ども～

10月5日(土)10時～12時　障害者総合支援センター「フレンドリー」多目的室にて、地域で活動をされている市民の方4名と西東京市教育企画課学務係、田無警察署生活安全課からお話を伺いました。子どもに関わる活動をされている方や、安全な地域づくりに関心のある方々等18名が参加し、意見交換を行いました。立場がそれぞれ違っているからこそ、これまで見えてなかったことに気づき、地域の安全・安心な活動につながるきっかけとなる2時間となりました。

新たな登録団体＜8月～9月＞
（説明文は登録時に各団体から頂いた「目的」の項を転載しています）

◆コールハーモニー・木精(こだま)

女声コーラスの活動により音楽への理解と技術の向上を図り、楽しみを分かち合う。

◆活写恋(かっしゃれん)

写真撮影と展示。スマホから一眼レフカメラまで、半年ごとに写真展を開催中。

◆ボンボンロール

西東京市を中心に防犯ライブを展開中です。特殊詐欺被害から自分を、家族を、地域を守りましょう。

＜2019年9月末現在で182団体になりました＞

西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ

〒188-0012
西東京市南町5-6-18イングビル1階
Tel:042-497-6950　Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
https://www.yumecollabo.jp/
Facebookも更新中！

開館時間　午前10時～午後7時
休館日　毎週日曜日